

2020年9月25日 日刊建設工業新聞



クリティークの4人と学生（画面）、
岸学院長（中央）で記念撮影した

建築新人戦2020は大学生を中心とした所屬する教育機関で取り組んだ設計課題作品を競い合うコンテスト。工学院大学・伊藤博之教授、千葉工業大学の多田脩二准教授と西田司准教授、早稲田大学・藤井由理准教授の4人が審査員を務めた。審査員は東京都新宿区の総合資格本社からリモートで学生のプレゼンを視聴した。

講評の終わりに西田氏は

建築新人戦2020オンライン講評会

総合資格学院

総合資格学院（岸隆司学院長）が主催する建築新人戦2020のスピノフ企画、オンライン講評会が20日に開かれた。12日に大阪市の大阪工業大学で行われた公開審査で選出された16

された。

建築新人戦2020は大学生を中心とした所屬する教育機関で取り組んだ設計課題作品を競い合うコンテスト。工学院大学・伊藤博之教授、千葉工業大学の多田脩二准教授と西田司准教授、早稲田大学・藤井由理准教授の4人が審査員を務めた。審査員は東京都新宿区の総合資格本社からリモートで学生のプレゼンを視聴した。

クリティーク賞に4作品選出



オンラインで遠隔による
プレゼンが行われた

「建築新人戦の対象となる1〜3年生の課題では建築のビルディングタイプを学んでいくが、皆さんがその型の中で自身でどれだけ面白がっているかが伝わってきた」と総括した。

建築新人戦の光嶋裕介実行委員長（神戸大学客員教授）は「建築新人戦の対象となる2年生や3年生の学

生に対して、これから建築をどう学んでいくかということについて『こうしたらいいのではない』『このようなり方が可能ではないか』とクリティークの先生たちからの愛情のある投げ掛けと、それに真剣に答えようとする学生たちとの対話が繰り返されているのが印象的だった」と総評した。

各クリティーク賞受賞作品は次の通り。

▽伊藤博之賞Ⅱ「部屋ぶら」（名城大学、西本帆乃香氏）▽多田脩二賞Ⅱ「道を介す住宅」（東京理科大学、河田祐希氏）▽西田司賞Ⅱ「変わるままと、変わらないもの。」（関東学院大学、永山千夏氏）▽藤井由理賞Ⅱ「ガラタ物語」（立命館大学、有吉慶太氏）。

※記事、伊藤博之賞受賞の「西本帆乃香」氏の氏名表記について正しくは、「西本帆乃加」氏となります。